

令和6年度

山辺中学校だより



令和7年 2月20日発行 校長 本木 善子

山辺地区立志式に参加しました

2月1日(土)に、15歳(昔の元服)の節目を祝う立志式を地域の公民館長さんに中心となって行っていただきました。この式に向けて2年生の皆さんに事前に書いてもらった「将来の自分に向けた漢字『一字』」が、当日の式場に掲示されました。また、公民館長さんや地域の皆さんが「15歳の君へおすすめの本」として本の紹介等の資料を配布してくださいました。実行委員長さんの熱いエール、チェロとピアノの演奏&エール、里山辺地区町会連合会長さんの地域のお話、里山辺消防団長さんから地域の一員として望むことのお話があり、あっという間の2時間でした。代表の生徒は、決意のことばや漢字一字に込めた願いを堂々と発表しました。将来羽ばたく中学生を地域で祝っていただけるありがたさを感じました。



決意のことば

本日は私達のために、このような会を開いていただきありがとうございます。私達はもう中学2年生になりました。今日で立志を迎えます。自分としてはまだまだ精神的にも未熟であり、立志という言葉は私にはほど遠いものだと思っていました。しかし、実際にこの年齢になった今、今までより周りのことをよく考え、自分自身が何をすべきか、先を見据え、自分自身と向き合わなければならないと思います。

私の将来の夢はまだはっきりと決まっていませんが、私の能力を十分にいかすことができる仕事に就きたいと思っています。将来私のなりたいものへの道がたくさんひらけるように、勉強・生徒会・部活どれも全力で取り組みたいです。特に生徒会では、役員の自覚を持ち、自分から進めたいと思っています。

さて、私は漢字「真」を選びました。私は来年度受験生になります。毎月のテストを適当に終わらせるのではなく、勉強の仕方を見直したり、真面目にこなしたりしていきたいという思いをこの漢字にたくしました。そして、山辺中学校の代表として、全校の見本となれるようがんばります。

私は今までいろんなことを経験してきました。やり遂げたこともありましたが、できなくて悔し涙を流すこともありました。できなかつたとき、愕然として何も考えられなくなりました。しかし、周りの人から助言をいただき、「結果だけを見るのではなく、ここまでがんばってきた過程が大切だ」と気付かされました。「次こそは絶対やってやるぞ!」と強い意志がもてたと思います。辛かった経験をただの思い出にするのではなく、それをバネにして、次のステップへ、私なりに進んでいくことができました。これからはもっと苦しい困難に立ち向かう場面が多くあると思います。しかし、失敗を恐れず、チャレンジ精神を大事にどんなことも乗り越えていけるようにしたいです。立志を迎えて自分なりに将来のことをいろいろ考えるようになり、学べる機会が増えたと思います。例えば、ドリーム大学で地域の方々に昔の曲の良さ、うまく絵を描く方法などを学ばせていただきました。まだまだ未熟ではありますが、地域の方々の力を借りて私たちのペースで少しずつ大人になって行きたいです。

